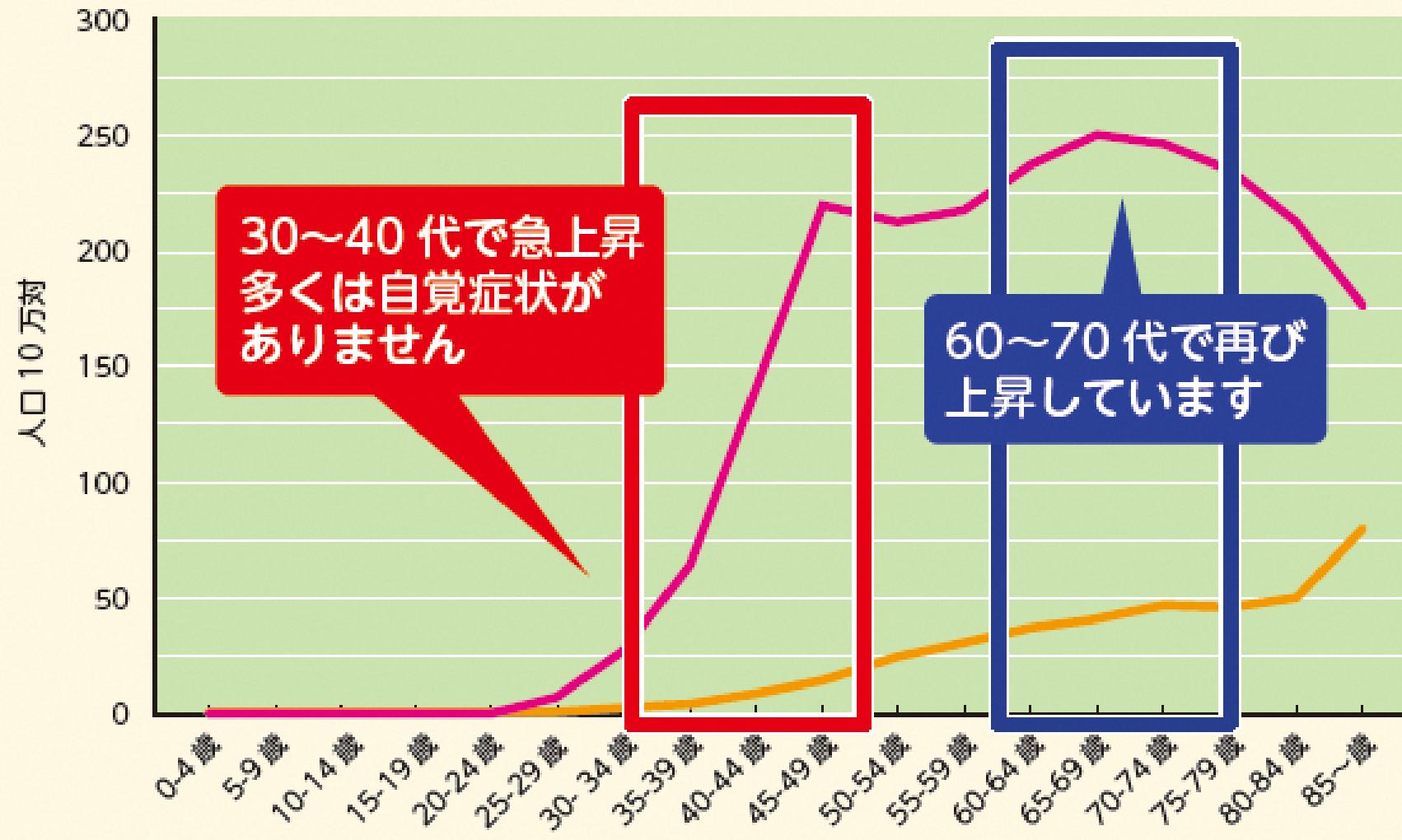


山本議員

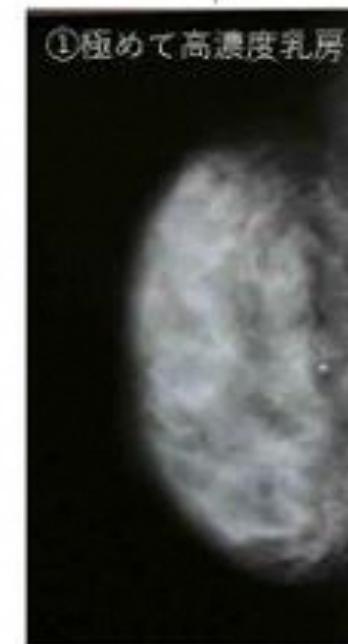
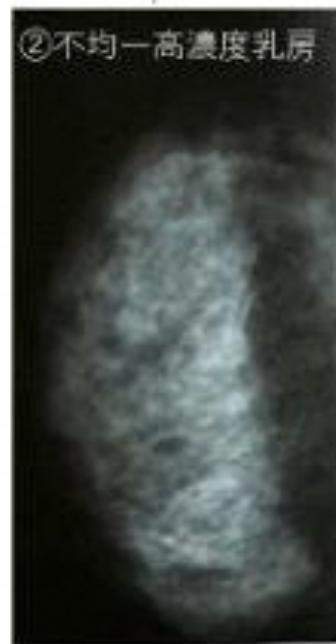
說明資料

年齢階級別乳がんの罹患率（2020年）・死亡率（2023年）

■ 罹患率 ■ 死亡率



【乳房の構成の分類】



高濃度乳房

黒っぽい

↔

白っぽい

がんを見つけやすい

↔

がんを見つけにくい

【出典元】

高濃度乳房について（平成30年3月31日）

平成29年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金 厚生労働科学特別研究事業
「乳がん検診における乳房の構成(高濃度乳房を含む)の 適切な情報提供に資する研究」班

川崎市乳がん検診結果票

③受診者用

3部複写

| | | | |
|-------|---|-------------------|---------------------------------|
| 受診年月日 | 令和 年 月 日 | 診査機関名 | |
| 一部負担金 | 1. 有 2. 無 | 一部負担金「2. 無」の場合の理由 | 1. 生保 2. 非課税 3. 70歳以上 4. 無料クーポン |
| 同日実施 | <input type="checkbox"/> 特定健診 <input type="checkbox"/> 肺がん <input type="checkbox"/> 大腸がん <input type="checkbox"/> 胃がん <input type="checkbox"/> 子宮がん | | |

受診される方の検診情報を検診の精度管理、がん研究などの目的のために使用させていただく場合があります。個々人の検診情報が漏れることはございません。

| | | | | | |
|----------|-------|----------|--|----------|--------------------|
| 漢字 氏名 | | カナ 氏名 | | 生年 月日 | 明・大・昭 年 月 日 (歳) |
| 住所 | 川崎市 区 | | | 電話 | |

乳がん検診結果のお知らせ

検診結果を下記のとおりお知らせします。○印が該当項目です。

1. 精検不要

今回の検診結果では、詳しい検査を行う必要はありません。

今後も、2年に1回、定期的に検診を受けてください。

- 右側の結果票の「乳房の構成」欄の「不均一高濃度」「極めて高濃度」に○印がついている方は、「高濃度乳房」といい、マンモグラフィで乳がんが分かりにくい傾向があります。
- 乳房に人工物が入っている方（豊胸術後等）もマンモグラフィで乳がんが分かりにくい傾向があります。
超音波検査などの他の方法が適している場合もあり、医療機関にご相談ください。
(自己負担が発生するため、費用についても医療機関にお問い合わせください。)
- 高濃度乳房の方・豊胸術の方に限らず、マンモグラフィですべての乳がんを発見することはできません。
乳房のしこりや乳頭からの分泌物など、気になることがあれば、次回の検診を待たずに医療機関を受診しましょう。

2. 乳がんの要精密検査

今回の検診結果では、さらに詳しい検査を行う必要があります。

※精密検査は、マンモグラフィの追加撮影や超音波検査、穿刺吸引細胞診（注射器で吸い出した細胞を顕微鏡で観察する検査）や針生検（患部の一部を切り取る組織検査）等により、行います。

『乳がん検診結果票』『紹介状』『精密検査結果報告書』『健康保険証の利用登録をしたマイナンバーカード

又は資格確認書等』を持参のうえ、ただちに右側下欄の「精密検査実施医療機関」で受診してください。

なお、精密検査の結果は、川崎市や関係医療機関で共有させていただきます。

以後の検査や診療は保険診療となりますので、必ず健康保険証の利用登録をしたマイナンバーカード又は資格確認書等をご持参ください。

注意) 乳がん検診（マンモグラフィ）は、死亡率減少効果が科学的に認められていますが、すべてのがんが検診で見つけられるわけではありません。また、がんがなくても検診の結果が「陽性」となる場合があります。

● 不明な点がございましたら、今回受診した医療機関におたずねください。

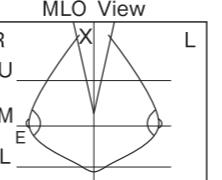
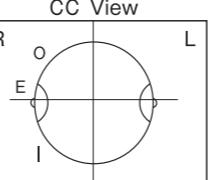
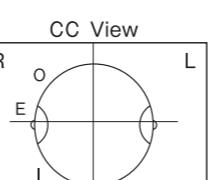
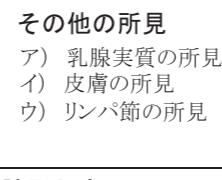
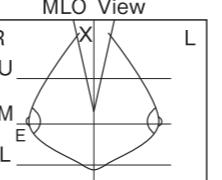
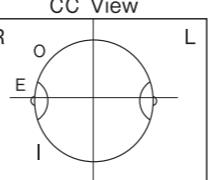
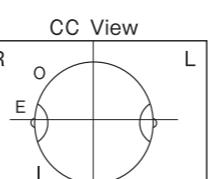
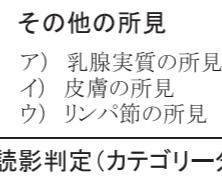
● 乳がんは、女性のかかるがんのうち、最もかかりやすいがんで、がんによる死因の上位に位置します。
「プレストアウェアネス（乳房を意識する生活習慣）4つのポイント」を実践しましょう。

①自分の乳房の状態を知る

②乳房の変化を気にする

③変化に気づいたらすぐ医師へ相談する ④2年に1回乳がん検診を受ける（40歳以上）

● この検診結果票は、健康管理のために必ず保管し、次回の受診時にお持ちください。

| マンモグラフィ検診記録票（一次読影） | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|---------------------|----------|------------|---|----------|---|------------|---|-------|------------------------------------|-------|--|
|   | | <p>① 腫瘍</p> <table border="1"> <tr><td>1. なし</td><td>2. あり(以下A~Eまで記入)</td></tr> <tr><td>ア) 部位</td><td>右 MLO (U M L E X W) (重複チェック可) 左 MLO (U M L E X W) CC (I O E W)</td></tr> <tr><td>イ) 形状</td><td>1. 円形・楕円形 2. 多角形 3. 分葉状 4. 不整形</td></tr> <tr><td>ウ) 辺縁</td><td>1. 境界明瞭 2. 微細分葉状 3. 境界不明瞭 4. スピキュラ</td></tr> <tr><td>エ) 濃度</td><td>5. 評価困難 1. 含脂肪 2. 低濃度 3. 等濃度 4. 高濃度</td></tr> </table> | | | | 1. なし | 2. あり(以下A~Eまで記入) | ア) 部位 | 右 MLO (U M L E X W) (重複チェック可) 左 MLO (U M L E X W) CC (I O E W) | イ) 形状 | 1. 円形・楕円形 2. 多角形 3. 分葉状 4. 不整形 | ウ) 辺縁 | 1. 境界明瞭 2. 微細分葉状 3. 境界不明瞭 4. スピキュラ | エ) 濃度 | 5. 評価困難 1. 含脂肪 2. 低濃度 3. 等濃度 4. 高濃度 |
| | | 1. なし | 2. あり(以下A~Eまで記入) | | | | | | | | | | | | |
| ア) 部位 | 右 MLO (U M L E X W) (重複チェック可) 左 MLO (U M L E X W) CC (I O E W) | | | | | | | | | | | | | | |
| イ) 形状 | 1. 円形・楕円形 2. 多角形 3. 分葉状 4. 不整形 | | | | | | | | | | | | | | |
| ウ) 辺縁 | 1. 境界明瞭 2. 微細分葉状 3. 境界不明瞭 4. スピキュラ | | | | | | | | | | | | | | |
| エ) 濃度 | 5. 評価困難 1. 含脂肪 2. 低濃度 3. 等濃度 4. 高濃度 | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 石灰化 | 1. なし | 2. 明らかな良性 | 3. 良悪性の識別必要(以下A~Wまで記入) | | | | | | | | | | | | |
|   | | <table border="1"> <tr><td>ア) 部位</td><td>右 MLO (U M L E X W) (重複チェック可) 左 MLO (U M L E X W) CC (I O E W)</td></tr> <tr><td>イ) 形態</td><td>1. 微小円形 2. 不明瞭 3. 多角形 4. 微細線状分枝状</td></tr> <tr><td>ウ) 分布</td><td>1. 散在性 2. 領域性 3. 集簇性 4. 線状 5. 区域性</td></tr> </table> | | | | ア) 部位 | 右 MLO (U M L E X W) (重複チェック可) 左 MLO (U M L E X W) CC (I O E W) | イ) 形態 | 1. 微小円形 2. 不明瞭 3. 多角形 4. 微細線状分枝状 | ウ) 分布 | 1. 散在性 2. 領域性 3. 集簇性 4. 線状 5. 区域性 | | | | |
| | | ア) 部位 | 右 MLO (U M L E X W) (重複チェック可) 左 MLO (U M L E X W) CC (I O E W) | | | | | | | | | | | | |
| イ) 形態 | 1. 微小円形 2. 不明瞭 3. 多角形 4. 微細線状分枝状 | | | | | | | | | | | | | | |
| ウ) 分布 | 1. 散在性 2. 領域性 3. 集簇性 4. 線状 5. 区域性 | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ その他の所見 | 1. なし | 2. あり(以下A~Wのいずれかを記入) | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr><td>ア) 乳腺実質の所見</td><td>1. 梁柱の肥厚 2. 管状影</td></tr> <tr><td>イ) 皮膚の所見</td><td>3. 非対称性乳房組織 4. 局所的非対称性陰影</td></tr> <tr><td>ウ) リンパ節の所見</td><td>5. 構築の乱れ 1. 皮膚陥凹 2. 乳頭陥凹 3. 皮膚肥厚 4. 皮膚病変 1. 腺大脇窓リンパ節 2. 乳房内リンパ節</td></tr> </table> | | | | | | ア) 乳腺実質の所見 | 1. 梁柱の肥厚 2. 管状影 | イ) 皮膚の所見 | 3. 非対称性乳房組織 4. 局所的非対称性陰影 | ウ) リンパ節の所見 | 5. 構築の乱れ 1. 皮膚陥凹 2. 乳頭陥凹 3. 皮膚肥厚 4. 皮膚病変 1. 腺大脇窓リンパ節 2. 乳房内リンパ節 | | | | |
| ア) 乳腺実質の所見 | 1. 梁柱の肥厚 2. 管状影 | | | | | | | | | | | | | | |
| イ) 皮膚の所見 | 3. 非対称性乳房組織 4. 局所的非対称性陰影 | | | | | | | | | | | | | | |
| ウ) リンパ節の所見 | 5. 構築の乱れ 1. 皮膚陥凹 2. 乳頭陥凹 3. 皮膚肥厚 4. 皮膚病変 1. 腺大脇窓リンパ節 2. 乳房内リンパ節 | | | | | | | | | | | | | | |
| 一次読影判定(カテゴリー分類) | | 1. 異常なし | 2. 良性 | 3. 悪性を否定できず | 4. 悪性の疑い | | | | | | | | | | |
| 読影医師名 | 明らかにがんの所見があり ⇒ 要医療(○をしてください) | | | | | | | | | | | | | | |
| 過去画像 | あり(添付枚) | なし | 比較読影 | : 有 ⇒ 変化: 無 · 有 () | | | | | | | | | | | |
| 読影判定会記録票(マンモグラフィ二次読影) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 二次読影年月日 | 令和 年 月 日 | | | | | | | | | | | | | | |
| フィルム評価 | 1. 読影可能 2. 読影不能 (右乳房・左乳房・両乳房) → [理由: 1. 体動 2. 撮影条件不良 3. ポジショニング不良 4. マンモ不適 5. その他()] | | | | | | | | | | | | | | |
| 乳房の構成 | 〔脂肪性、乳腺散在、不均一高濃度、極めて高濃度〕 豊胸術後 | | | | | | | | | | | | | | |
|   | | <p>① 腫瘍</p> <table border="1"> <tr><td>1. なし</td><td>2. あり(以下A~Eまで記入)</td></tr> <tr><td>ア) 部位</td><td>右 MLO (U M L E X W) (重複チェック可) 左 MLO (U M L E X W) CC (I O E W)</td></tr> <tr><td>イ) 形状</td><td>1. 円形・楕円形 2. 多角形 3. 分葉状 4. 不整形</td></tr> <tr><td>ウ) 辺縁</td><td>1. 境界明瞭 2. 微細分葉状 3. 境界不明瞭 4. スピキュラ</td></tr> <tr><td>エ) 濃度</td><td>5. 評価困難 1. 含脂肪 2. 低濃度 3. 等濃度 4. 高濃度</td></tr> </table> | | | | 1. なし | 2. あり(以下A~Eまで記入) | ア) 部位 | 右 MLO (U M L E X W) (重複チェック可) 左 MLO (U M L E X W) CC (I O E W) | イ) 形状 | 1. 円形・楕円形 2. 多角形 3. 分葉状 4. 不整形 | ウ) 辺縁 | 1. 境界明瞭 2. 微細分葉状 3. 境界不明瞭 4. スピキュラ | エ) 濃度 | 5. 評価困難 1. 含脂肪 2. 低濃度 3. 等濃度 4. 高濃度 |
| | | 1. なし | 2. あり(以下A~Eまで記入) | | | | | | | | | | | | |
| ア) 部位 | 右 MLO (U M L E X W) (重複チェック可) 左 MLO (U M L E X W) CC (I O E W) | | | | | | | | | | | | | | |
| イ) 形状 | 1. 円形・楕円形 2. 多角形 3. 分葉状 4. 不整形 | | | | | | | | | | | | | | |
| ウ) 辺縁 | 1. 境界明瞭 2. 微細分葉状 3. 境界不明瞭 4. スピキュラ | | | | | | | | | | | | | | |
| エ) 濃度 | 5. 評価困難 1. 含脂肪 2. 低濃度 3. 等濃度 4. 高濃度 | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 石灰化 | 1. なし | 2. 明らかな良性 | 3. 良悪性の識別必要(以下A~Wまで記入) | | | | | | | | | | | | |
|   | | <table border="1"> <tr><td>ア) 部位</td><td>右 MLO (U M L E X W) (重複チェック可) 左 MLO (U M L E X W) CC (I O E W)</td></tr> <tr><td>イ) 形態</td><td>1. 微小円形 2. 不明瞭 3. 多角形 4. 微細線状分枝状</td></tr> <tr><td>ウ) 分布</td><td>1. 散在性 2. 領域性 3. 集簇性 4. 線状 5. 区域性</td></tr> </table> | | | | ア) 部位 | 右 MLO (U M L E X W) (重複チェック可) 左 MLO (U M L E X W) CC (I O E W) | イ) 形態 | 1. 微小円形 2. 不明瞭 3. 多角形 4. 微細線状分枝状 | ウ) 分布 | 1. 散在性 2. 領域性 3. 集簇性 4. 線状 5. 区域性 | | | | |
| | | ア) 部位 | 右 MLO (U M L E X W) (重複チェック可) 左 MLO (U M L E X W) CC (I O E W) | | | | | | | | | | | | |
| イ) 形態 | 1. 微小円形 2. 不明瞭 3. 多角形 4. 微細線状分枝状 | | | | | | | | | | | | | | |
| ウ) 分布 | 1. 散在性 2. 領域性 3. 集簇性 4. 線状 5. 区域性 | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ その他の所見 | 1. なし | 2. あり(以下A~Wのいずれかを記入) | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr><td>ア) 乳腺実質の所見</td><td>1. 梁柱の肥厚 2. 管状影</td></tr> <tr><td>イ) 皮膚の所見</td><td>3. 非対称性乳房組織 4. 局所的非対称性陰影</td></tr> <tr><td>ウ) リンパ節の所見</td><td>5. 構築の乱れ 1. 皮膚陥凹 2. 乳頭陥凹 3. 皮膚肥厚 4. 皮膚病変 1. 腺大脇窓リンパ節 2. 乳房内リンパ節</td></tr> </table> | | | | | | ア) 乳腺実質の所見 | 1. 梁柱の肥厚 2. 管状影 | イ) 皮膚の所見 | 3. 非対称性乳房組織 4. 局所的非対称性陰影 | ウ) リンパ節の所見 | 5. 構築の乱れ 1. 皮膚陥凹 2. 乳頭陥凹 3. 皮膚肥厚 4. 皮膚病変 1. 腺大脇窓リンパ節 2. 乳房内リンパ節 | | | | |
| ア) 乳腺実質の所見 | 1. 梁柱の肥厚 2. 管状影 | | | | | | | | | | | | | | |
| イ) 皮膚の所見 | 3. 非対称性乳房組織 4. 局所的非対称性陰影 | | | | | | | | | | | | | | |
| ウ) リンパ節の所見 | 5. 構築の乱れ 1. 皮膚陥凹 2. 乳頭陥凹 3. 皮膚肥厚 4. 皮膚病変 1. 腺大脇窓リンパ節 2. 乳房内リンパ節 | | | | | | | | | | | | | | |
| 二次読影判定(カテゴリー分類) | | 1. 異常なし | 2. 良性 | 3. 悪性を否定できず | 4. 悪性の疑い | | | | | | | | | | |
| 総合判定 | 1. 精検不要 | 2. 乳がんの要精密検査 | 読影医師名 | | | | | | | | | | | | |
| 二次読影医コメント | | | | | | | | | | | | | | | |
| 精密検査実施医療機関 総合判定で2(乳がんの要精密検査)の場合 | 1. 自院で実施 · 2. 他院を紹介 医療機関名() | | | | | | | | | | | | | | |
| 検診結果について、説明・指導を受けました。令和 年 月 日 受診者署名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 医師記載欄 | 来院しないので 口結果を郵送 口医師が本人に電話説明した後、結果を郵送 備考: | | | | | | | | | | | | | | |

川崎市乳がん検診を受けられた方に

| | | | |
|--------|---|---|---|
| 今回の受診日 | 年 | 月 | 日 |
|--------|---|---|---|

次回の川崎市乳がん検診は、受診日の再来年度（2年後）に受けすることができます。これは2年に1回の受診でも、毎年受診した場合とほぼ同じ有効性が示されているためです。

ただし、マンモグラフィですべての乳がんを発見することはできません。たとえば、乳房の構成が不均一高濃度、極めて高濃度の方は、他の人と比べて乳がんが分かりにくい傾向にあります。今回の検診結果票に「乳房の構成」欄がありますのでご確認ください。

もし、乳房にしこりなど気になるところがあったら、次回の検診を待たないで精密検査を受けてください。

また、今回の検診で精密検査が必要とされた方は、速やかに専門の医療機関に診てもらいましょう。要精密検査とされた方のすべてががんということではありません。要精密検査とされた方のうち、約20人に1人の確率でがんが発見されています。マンモグラフィで発見されるがんのほとんどが早期がんです。早期に発見できれば助かる確率が高くなり、乳房が温存できる可能性も高くなります。

川崎市乳がん検診連絡調整会議



*裏面もご覧ください

問合せ先 川崎市健康福祉局 保健医療政策部 健康増進課
電話 044（200）2431

「乳房を意識する生活習慣」で乳がん予防



ブレスト・アウエアネス

ブレスト・アウエアネスとは「Breast(乳房)」と「Awareness(意識)」の言葉どおり、日々の生活の中で「乳房を意識すること」です。

ブレスト・アウエアネスの4つのポイント

1 乳房の状態を知る

着替えや入浴、シャワーなどの際に乳房を見て、触って、感じてみましょう。



見て



触って



感じて

2 乳房の変化を気にする

しこり、かぶれ、皮膚のへこみ、ひきつれ、乳頭からの分泌物、痛みなどをチェックしましょう。

3 変化に気づいたらすぐ医師へ相談する

乳房の変化がすべて乳がんの症状ではありませんが早期の乳がんの疑いがあります。

4 40歳になったら 2年に1回 乳がん検診を受けましょう

40歳以上の女性にはマンモグラフィを使用した乳がん検診が推奨されています。



ピンクリボンかながわ



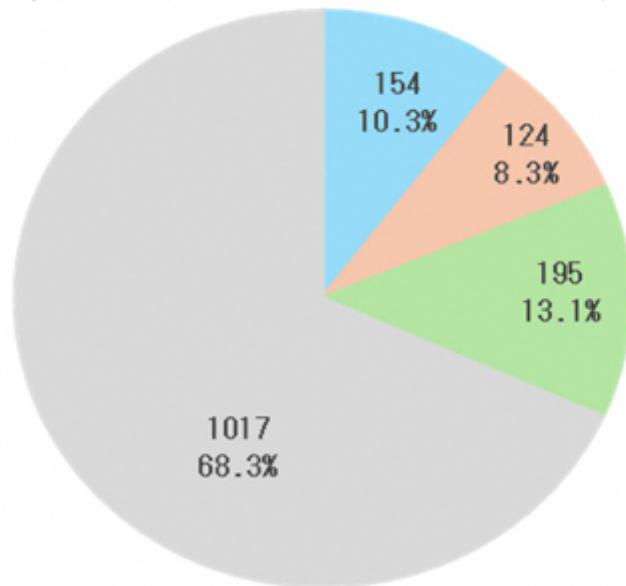
図1-1 令和6年能登半島地震発災後の井戸利用状況（石川県羽咋市提供）

災害用井戸の取組状況について

■ 災害用井戸の有無

<全体>回答数 1, 490

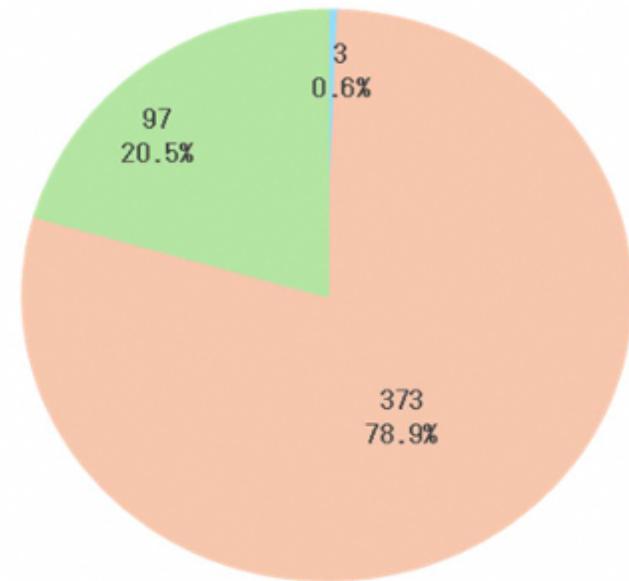
| ■ 公共の災害用井戸・民間所有の災害用井戸 | |
|-----------------------|----------------|
| 両方が有り | 154 (10.3%) |
| 公共の災害用井戸が有り | 124 (8.3%) |
| 民間所有の災害用井戸が有り | 195 (13.1%) |
| 災害用井戸が無い | 1, 017 (68.3%) |



■ 災害用井戸の用途

<災害用井戸が有る自治体>回答数 473

| | |
|----------------|-------------|
| ■ 飲用のみに使用 | 3 (0.6%) |
| ■ 生活用のみに使用 | 373 (78.9%) |
| ■ 飲用と生活用の両方に使用 | 97 (20.5%) |



災害時協力井戸標識



災害時協力井戸の家標識



亀岡市家庭用取水施設等整備事業費補助金交付要綱（抜粋）

(補助対象者)

第3条 補助対象者は、補助対象地域に居住する個人又は補助対象地域内で共同利用により飲用水等の取水施設等を整備する代表者であって、次の各号のいずれにも該当しないものとする。

- (1) 過去においてこの要綱によるもののほか同様の補助又は公共事業等の施行に伴う補償を受けた者であって、その補助又は補償を受けた年度の翌年度から起算して10年を経過していないもの
 - (2) 他人の土地に取水施設等を整備する場合において、当該土地の所有者の承諾が得られない者
 - (3) 個人にあっては、市税を滞納している者
- 2 前項第1号の規定にかかわらず、災害等により既設の水源(井戸、山水等)が枯渇し、汚染し、又は破損した場合において、市長が必要と認めるときは、補助対象者とすることができる。

(補助対象経費)

第5条 補助対象経費は、新設工事又は更新工事(修繕工事を除く。)に係る費用であつて、次に掲げるものとする。

- (1) ボーリング工事費(打ち抜き工事及び素掘り工事を含む。)
- (2) 取水管工事費
- (3) ポンプ設置工事費
- (4) 貯水タンク設置工事費
- (5) ろ過設備工事費
- (6) 消毒設備工事費
- (7) 電気導線工事費
- (8) 給水開始前の水質検査費

(令2告示39・一部改正)

(補助金の額)

第7条 補助金の額は、個人の施設にあっては補助対象経費の3分の2以内(ただし100万円を限度とする。)とし、共同利用の施設にあっては補助対象経費の3分の2以内(ただし300万円を限度とする。)とする。

- 2 前項の規定により算定した補助金の額に1,000円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

■ 災害時における地下水等活用の必要性

<全体>回答数 1, 490

■ 非常に感じている 135 (9.1%)

■ 感じている 668 (44.8%)

■ 感じていない 166 (11.1%)

■ わからない 521 (35.0%)

